

2017年9月4日

朝鮮民主主義人民共和国

労働党委員長 金正恩殿

原水爆禁止大阪府協議会  
理事長 岩田 幸雄

## 抗議文

### 北朝鮮の核実験を厳しく糾弾する

貴国は、9月3日、午後0時31分、6回目の核実験を行った。北朝鮮中央テレビによれば、実験は「ICBMの弾頭部に搭載するための水爆製造の威力のコントロールなどの正確性と信頼性を実証するために行われた」と報道し、ICBM用搭載の水爆とみられ、その規模は過去最大の威力があったと伝えられている。

貴国は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、世界とアジアの平和と安定にとっての最大の脅威であり、数次にわたる国連安保理決議や6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。それは、国際社会が要求している「対話、外交による解決」に逆行する蛮行である。

7月7日、国連で採択された「核兵器禁止条約」は、「核兵器のない世界」を求める世界の大勢を示すものであり、被爆国、日本国民の長年の願いが叶ったものである。今実験はこれに対する挑戦である。この条約は、「核兵器は人類と共存できない」ことを成文化し、人類の知恵と理性が結実したものである。原爆や核実験によって辛酸の苦しみを体験した世界のヒバクシャが先頭になって創り上げたものである。今回の核実験は、人類の歴史を逆戻りさせるものである。

私たちは、貴国の今核実験に断固抗議し、貴国はただちに現在の危機を打開するために、アメリカとの対話をすすめ、今こそ世界の平和と安定に貢献することを要求する。また、アメリカ、韓国、日本政府にも軍事的挑発をただちにやめるよう要求する。

貴国は、これ以上の軍事的挑発を中止し、アメリカとの直接対話に踏み出すことを、重ねて呼びかけるものである。